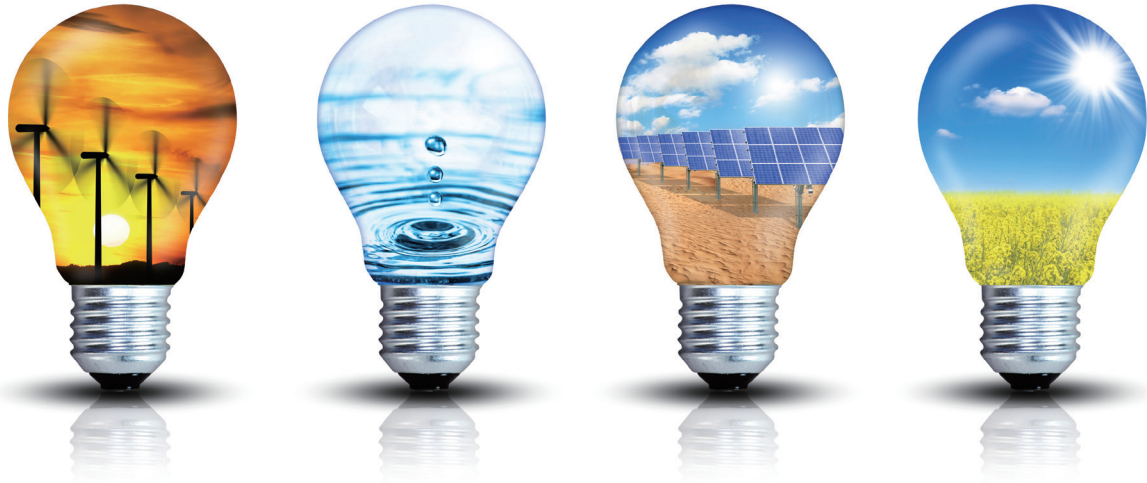


# いま、何を議論すべきなのか？ — エネルギー政策と温暖化政策の再検討 —



東日本大震災後、日本のエネルギー政策が大きく見直されようとしています。

エネルギー政策の見直しにあたり整理すべき論点として、

- ① エネルギーの「安定供給」の確保
- ② エネルギーの供給責任とコスト負担のあり方
- ③ 安定供給を担えるエネルギー産業の編成 の3点があります。

これらの論点について、政策を立案・実施する責任のあり方も十分考慮し、整理します。

## 2012.2.18 SAT 13:30~16:30

講師：日本経団連 21 世紀政策研究所研究主幹  
NPO 法人国際環境経済研究所所長

### 澤 昭裕

受講料  
1,000円  
要申込

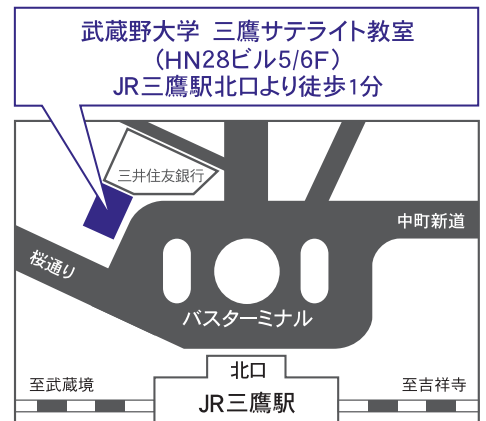
場所：武蔵野大学三鷹サテライト教室



#### ● 講師略歴

1957年大阪府生まれ。1981年一橋大学経済学部卒業、通商産業省入省。1987年行政学修士（プリンストン大学）。1997年工業技術院人事課長。2001年環境政策課長。2003年資源エネルギー庁資源燃料部政策課長。2004年8月～2008年7月東京大学先端科学技術研究センター教授。2007年5月より21世紀政策研究所研究主幹、2011年4月より国際環境経済研究所所長。

著書に『大学改革 課題と争点』東洋経済新報社(2001年)、『地球温暖化問題の再検証』東洋経済新報社(2004年)、『エコ亡国論』新潮新書(2010年)など。



武蔵野大学  
MUSASHINO UNIVERSITY

— Linking Thinking —

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211  
開室日：月～金曜日 9:30～18:00 (祝日を除く)  
：土曜日 9:30～15:30

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp